

中小企業を支える現場の最前線へ。支援の質を高め続ける！

中小企業支援者のための 研修ガイド

2026年度 8月～2月

金融機関・支援機関・認定支援機関など、
“地域の中小企業を支える皆さま”に向けて、
支援力アップや最新の支援策情報を一度に学べるコースをご用意しています！

研修の体系

受講対象者の経験等に応じて3つのレベルを設定

- 基礎（基礎知識の修得）
- 専門（実践力養成、専門知識の修得）
- 上級（実践力養成、コーディネート力の修得）

研修分野

- 経営実務の支援力
（経営・戦略、財務・税務、営業・広報、相談・助言力など）
- 政策課題支援
（事業承継、生産性向上、創業・新規事業・人手不足など）
- 組織内のノウハウ継承
- その他
（伴走型支援、金融機関向け）



中小企業大学校 関西校とは

国の中小企業施策の一環として、人づくりから中小企業を支える公的機関

45年の歴史を持ち、累計で6万3千人を超える方々に受講いただいた「中小企業大学校 関西校」は、中小企業の経営者・管理者に対し、蓄積したノウハウを活かしながら専門性の高い、実践的な研修を実施しております。

また、支援機関の方に向けた研修も行い、中小企業、小規模事業者の「人材育成」をサポートしています。

関西近郊（大阪、京都、兵庫、和歌山、滋賀、奈良など）にお住まいの皆さまはもちろん、

全国からご受講いただけます。人材育成の場として、ぜひご活用ください。

※中小企業大学校は、独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）が運営する人材育成機関です。

中小企業だけでなく

支援担当者の育成にも最適！

POINT

01

眠くならない、刺激的な学び！ 研修手法が良いと好評

学びを深めるグループワークや討論が中心。

企業課題を題材にした解決策の検討や、他支援者の視点も学べるから、新たな発見と気づきが得られる。

POINT

02

コストを抑えつつ、実践的な学びを提供！ 費用対効果が高いと好評

中小企業、小規模事業者のリアルな課題に即した内容で、

すぐに支援先の課題解決に役立ちます。また最新の支援施策についても学べ、支援の質を高めることができる。

受講料の一例 | 2日間(12時間)研修：22,000円 / 3日間(20時間)研修：23,000円

POINT

03

人材育成・組織力強化に直結！ マネジメントの立場の方に好評

リーダーシップやチームマネジメント、部下との関係づくりまで、

支援現場・職場で必要なヒューマンスキルを磨ける。

ニーズに応じた各種研修形態にも対応！



サテライト・ゼミ

自治体や支援機関、大学等と連携して、身近な地域で中小企業大学校の研修を提供



オーダーメイド研修

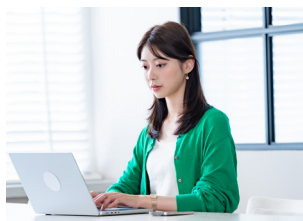
企業・支援機関・団体の皆様のニーズにあわせオーダーメイドで研修を企画し、限定の特別研修を提供



WEBeecampus

オンライン研修 (WEBeecampus)

職場や外出先、自宅など場所を選ばず受講できる、双方向型のオンライン研修（少人数制）を提供



オンデマンド研修 (MANBeeCampus)

パソコンがあればいつでも受講が可能な学習管理システムを使用し、ビジネスに役立つテーマのe-ラーニングを提供

研修の体系

受講対象者の経験等に応じて3つのレベルの研修を設定しています（どのレベルからでもご受講いただけます）

 ● 基礎 新任者または職務経験1～5年程度の方。基礎となる知識・理論・手法の修得をめざす。	 ● 専門 中堅担当者または職務経験5年程度以上の方。専門知識・実践力・分析力の修得をめざす。	 ● 上級 管理職または職務経験10年程度以上の方。専門知識・総合力・応用力の修得をめざす。
--	---	--

研修分野

- 経営実務支援力（経営・戦略、財務・会計・税務、営業・広報、相談・助言力など）
- 政策課題支援（事業承継、生産性向上、創業・新規事業・人手不足など）
- 組織内のノウハウ継承（上級レベルのみ）
- その他（伴走型支援、金融機関向け）

2026年度開催の研修一覧

分類	研修名（略称）	受講対象機関				診断士更新登録対象
		中小企業関係団体	認定支援機関	金融機関	診断士等専門家	
専門	データを活用した経営支援の進め方	●	●	(●)		●
	中小企業の「人手不足対策」支援の進め方	●	●	(●)		●
	顧客や相談者との信頼関係を築く「聴く力」養成講座	●	●	(●)		●
	創業・新規事業支援の進め方	●	●	(●)		●
	事業承継支援の進め方	●	●	(●)		●
	経営支援に役立つロジカルシンキング講座	●	●	(●)		●
上級	ベテラン支援担当者のためのOJT能力向上研修	●	●	(●)		
その他	地域金融機関研修			●		●
	ケースで学ぶ！経営力再構築伴走支援研修	●	●	(●)	●	●

(●) は、認定支援機関に登録されている金融機関

中小企業診断士更新研修について

一部研修は、中小企業診断士〔理論政策更新研修〕対象コースです。更新要件としてもご活用いただけます。対象コースは、上記一覧をご確認ください。



データを活用した 経営支援の進め方

関西校

研修のねらい

本研修では、データ活用の重要性やデータを見る視点を学んだ上で、企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の考え方・取り組み方を事例演習を通して身につけます。また、説得力のあるアドバイスの裏付となるデータ分析の手法を習得し、経営支援の質の向上を図ります。

研修期間

2026 年
8/3月～8/5水
(3日間、20時間)

対象者

- ・ 中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の職員で中堅担当者又は職務経験 5 年程度以上の方

定員 20 名

受講料 23,000 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

研修のポイント

- ☑ データの収集、加工、並びに分析手法が身につきます。
- ☑ 分析結果に説得力を持たせた説明ができるようになります。
- ☑ 事業者に伴走した支援のあり方について検討します。

月 日	時間	科目	内容
8/3 月	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40 13:40-15:40	「聴く」 データに基づく 経営支援のポイント	持続的な経営を支援するために、事業者や関係者の心を動かすデータ活用、伴走型支援のポイントを学びます。 ・ 中小企業を取り巻く現状と課題の共有 ・ データドリブン経営の必要性 ・ 経営支援における事業者との対話ポイント ・ 経営支援に用いるデータの種類と特徴 ・ 経営支援に使える代表的なフレームワーク
	15:40-17:40	「調べる」 経営支援における データ収集 (演習)	インターネット上のオープンデータを活用した経営環境の把握、社内データを活用した経営支援について、表計算ソフトを活用しながら実践的に学びます。 ・ 経営支援におけるオープンデータの調べ方 (演習) ・ 経営課題に応じた様々なデータの収集と組立て (演習)
8/4 火	9:30-12:30	「分析する」 基本的な分析手法 (演習)	データを読み解くために知っておきたい統計の基本について、表計算ソフトを活用してサンプルデータを分析しながら学びます。 ・ 平均値、中央値、最頻値 ・ 四分位、分散、標準偏差 ・ 相関と因果
	13:30-17:30	「読む」 データの読み方と 注意点 (演習)	経営課題に関するデータの見方を確認するとともに、表計算ソフトを活用したデータの素早いグラフ化、AI の活用について学びます。 ・ データを読む時に気をつけたいこと (演習) ・ グラフの使い方とその応用 ・ AI の活用と注意点
8/5 水	9:30-12:30	「伝える」 説得力を生み出す プレゼンテーション (演習)	データを活用した説得力のあるプレゼンテーションを行うための基本について、実践的な演習を通して学びます。 ・ プレゼンテーションのポイント ・ 資料作成のコツ ・ データに基づいた効果的な説明方法
	13:30-16:30	総合演習 事業者に寄り添う 伴走型支援	事例企業の伴走型支援計画策定、データ活用支援の具体的なアクションプラン作成しプレゼンテーションします。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20 時間 20 分
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。
※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5 ～ 10 分程度)
(受講者持参物) ・ パソコン (Excel、PowerPoint)

講師紹介 (敬称略)



中小企業診断士
服部 繁一 (はっとり しげかず)

桃山学院大学ビジネスデザイン学部 准教授、ITストラテジスト、一級販売士、認定経営革新等支援機関
上場企業にて、Webシステムの企画・設計・開発・管理、ITコンサルティングなどを経験した後、地域総合経済団体にて、インキュベーション・マネジャーを務める。現在は、中小企業診断士として実務、研究、教育に従事。実務面は、製造業・卸売業・物流業などさまざまな業界の起業希望者から中小企業経営者まで、3,000社以上の経営および創業支援実績があり、特に多角的視点を持った事業計画作成の支援に定評がある。また研究面では、実務を踏まえて情報が中小企業経営に及ぼす影響に関するメカニズムの解明に取り組んでいる。

- ・ 情報を集める前に “仮説を立てる” “問題の根は何か” “収集する目的の設定” これらがポイントである事を知れた。

～採用・定着・育成・副業人材活用などの人材戦略～ 中小企業の「人手不足対策」 支援の進め方

関西校

研修のねらい

人材不足が深刻な状況にある中小企業においては、若手社員の採用や中堅社員の離職といった悩みを抱える企業が少なくありません。企業の「人」の問題を解決するためには、労働人口減少社会の現実を正しく理解し、受け入れた上で、それぞれの企業に必要な対策を検討していくことが重要です。

本研修では、採用・定着（離職防止）・育成のポイントを学ぶと共に、副業兼業人材の活用や効果的なデジタル化の進め方など、中小企業が現実的に取り得る具体策についても学び、効果的な経営支援に繋がる力を育成します。

研修のポイント

- ✓ 中小企業の人手不足対策として有効な支援手法・アプローチを学ぶことができます。
- ✓ 実際の支援現場で使えるチェックシート等、ツールの使い方を学び、実践できるようになります。

研修期間

2026 年
9/15^火～9/17^木
(3日間、20時間)

対象者

- ・ 中小企業の人手不足問題に関する知識・対策の着眼点を身に着けたい方

定員 **30** 名

受講料 **23,000** 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
9/15 火	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	中小企業の採用・定着の現状と課題	中小企業の採用・定着の現状を理解し、どのような課題に結びついているかを総合的に学びます。
		人材戦略の考え方	企業経営を人材の観点から俯瞰的に捉える、人材戦略の考え方を学びます。
9/16 水	13:40-17:40	経営支援としての前さばき方法の習得(演習)	企業から人材の問題を相談された場合、単に採用や定着の話として聞くのではなく、経営戦略とどのようにリンクし、本当に人の採用や定着対策が第一選択肢となるのかを総合的に判断する必要があります。支援機関職員として、専門家につなぐ前にどのように相談内容を整理し、真に企業の役に立つ支援に繋げるかを演習を通して学びます。
	9:30-12:30	採用対策(演習)	採用をマーケティング視点からとらえ、どのフェーズにどのような対策が効果的かを学びます。
9/17 木	13:30-17:30	定着対策(演習)	定着対策の基本は、「企業の魅力度を高める事」です。魅力度の高い組織の条件を整えるための考え方、具体的方法を学びます。
	9:30-12:30	育成対策(演習)	様々な人材育成方法を学ぶと共に、プロジェクト形式での人材育成方法について、支援機関職員としてできる事を学びます。
	13:30-16:30	人手不足対策の具体例紹介 ・副業兼業人材活用 ・デジタル化	常用雇用の採用はこれから先、更に厳しくなってきます。それを踏まえ、新しい人手不足対策の具体的な方法を事例から学びます。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



テイクストーンズコンサルティング合同会社
代表社員

武石 ゆかり

(独) 中小企業基盤整備機構で26年勤務し、多種・多様な中小企業・小規模事業者の多種・多様な課題解決の支援を実施。2023年「経営をITと人の心で結ぶ」ことをコアビジョンとして、テイクストーンズコンサルティング合同会社を創業。主として、デジタル化・人的資本経営のコンサルティング、心理的安全性確保のためのカウンセリングを通し、中小企業の成長・成熟のための挑戦や実験を応援中。
資格：中小企業診断士・ITコーディネータ・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー

顧客や相談者との信頼関係を築く 「“聴く力”養成講座」

関西校

研修のねらい

中小企業・小規模事業者を支援する上では、事業者との信頼関係構築や課題抽出・課題解決に向けた「コミュニケーション」スキルを高めることが必要です。

本研修では自己理解から始まり、非言語コミュニケーション、傾聴力、質問力まで、体系的かつ実践的に学びます。グループワークやロールプレイングを中心とした参加型の演習を通じて、明日から使える実践的スキルが身につきます。
(前年度タイトル：傾聴力向上講座)

研修のポイント

- ☑ 事業者支援の心構え、経営者との接し方など、経営指導員等の本来あるべき姿について学びます。
- ☑ 事業者との信頼関係構築や課題抽出・課題解決に向けた「コミュニケーション」スキルを高めます。

研修期間

2026 年
10/27^火～10/28^水
(2日間、13.5時間)

対象者

- ・ 支援先企業の課題抽出、解決策の提案力向上を学びたい方
- ・ 経営指導員の役割、マインドセットについて学びたい方

定員 **30** 名

受講料 **22,000** 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内 容
10/27 ^火	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-10:10	オリエンテーション	・ 研修の目的と狙い ・ 2日間の目標設定 ・ 自己紹介、経営支援等での課題の共有
	10:10-11:40	自己理解とコミュニケーションスタイル分析	・ 他者を理解するための自己理解 ・ 経営支援者に求められる基本姿勢 ・ 支援者に求められる専門性・信頼・コミュニケーション ・ コミュニケーションの基本とスタイル ・ (ワーク) 自分の日頃のコミュニケーションを見直す
	11:40-14:10	非言語コミュニケーションの理解と実践(昼休憩込み)	・ メラビアン法の法則とハロー効果 ・ 非言語コミュニケーションの重要性 ・ 気をつけたい印象の要素 ・ 見た目と声を与える大きな影響 ・ 非言語コミュニケーションの重要性を体感する電話対応ワーク
	14:10-15:40	傾聴力の基礎理解	・ 傾聴とは何か ・ 傾聴がもたらす効果と信頼構築 ・ 傾聴時に気をつけたい7つのルール ・ (ワーク) 話を聞いてもらうことでの安心感を感じる
10/28 ^水	15:40-17:40	相談ケーススタディ 1日目のまとめ	・ 経営指導や相談時における傾聴力の活用 ・ ケーススタディに沿って相談する側・される側の気持ちを考える ・ (ワーク) ロールプレイングで相談の実践を試みよう ・ 1日目の振り返りと今後に活かす点を考える
	9:30-10:00	オリエンテーション	・ 研修の目的と狙い ・ 1日目の振り返りと2日目の目標設定 ・ 1日目の振り返りを共有しよう
	10:00-11:30	質問力を上げて相手と共創する信頼構築	・ 質問力とは何か ・ 効果的な質問で相手の本音を引き出す ・ 質問の種類と特徴 ・ SPIN法を活用した質問で気づきを与える ・ (ワーク) 悩みを抱える同僚の本音をSPIN法で引き出そう
	11:30-14:00	テキストコミュニケーションの基本と効果(昼休憩込み)	・ 文章のコミュニケーション力アップでより良い関係構築 ・ コミュニケーションの温度と正確性の違いを知る ・ 必要なのは「共通認識」と思いやり ・ テキストコミュニケーションで気をつけたい8つのこと ・ (ワーク) 伝えると伝わるの違いを考える。正しく伝わらなかったケーススタディから原因と伝わる文章を考えよう
	14:00-15:30	伝わりやすい話し方でコミュニケーションコストを下げる	・ 話したいことより伝わるのが重要 ・ 人が話を聞かなくなるポイントとは ・ PREP法などの伝わるテクニックを学ぶ ・ (ワーク) 日常会話の見直しと正しく伝わる順番を見つける
	15:30-17:00	相談ケーススタディ 2日目のまとめ	・ 2日目の学びを活かして経営指導や相談時におけるコミュニケーション力を高める ・ ケーススタディに沿って実際の経営相談時のロールプレイング ・ (ワーク) 事例をもとに分析→面談計画を考え→ロールプレイングで学びを実践に活かす
	17:00-17:10	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：13時間 50分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



ジャイロ総合コンサルティング
露 英一(つゆ ひでかず)

法政大学卒業後、メディアや飲食業界での実務経験を経て、東京の大手業務用酒類販売会社で営業職として勤務。顧客との信頼構築、価格交渉、利益改善策の策定、社内環境の整備など、幅広い業務に携わり、社内の業務改善と発展に寄与。また、管理職として人材育成にも熱心に取り組み、実践的な指導力を発揮した。その後、インバウンド市場を見据えた外国人・富裕層向け接客業務に従事。高所得者層を対象とした一流の接客や対応方法、コミュニケーション力を身につける。コロナ禍の影響でリモート営業の分野に進出し、フルリモートの営業環境でトップの成績を2年連続で達成。現在は、講師・コンサルタントとして活動し、多岐にわたる実務経験を基にしたコミュニケーション研修、営業研修、業務効率化研修、マネジメント研修、創業支援研修、ハラスメント防止研修などを提供。わかりやすい事例と論理的なアプローチが評価され、多くの企業や個人から高い信頼を得ている。

創業・新規事業支援の進め方

研修のねらい

この研修では、創業や小規模事業者の新規事業展開支援を進めるために必要な事業者との関わり方のポイントや創業時等の経営上の課題を事例等で理解した上で、創業から継続して事業を進めていくための支援に役立つ手法や進め方を、演習を交えて学ぶことで、創業支援能力を高めます。

研修期間

2026年

11/4^水～11/6^金

(3日間、20時間)

対象者

- 創業や小規模事業者のための新規事業展開支援を効果的に支援するための考え方やスキルを学びたい方

定員 30名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

研修のポイント

- ✓ 新規事業展開や創業支援の現状・動向を理解し、事業者を支援するための考え方について学びます。
- ✓ 創業者、小規模事業者から創業時や成長に役立つ支援や関わり方について、意見交換を行います。
- ✓ ビジネスモデルの見える化等を通じた創業支援の進め方について、演習を交えて学びます。

月 日	時間	科目	内容
11/4 ^水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	創業の実際とコミュニケーション	創業（新規事業を含む）を支援する際の関わり方、進め方について、演習を交えながら解説します。 ・創業を支援するための支援者のあり方・心構え ・創業支援に必要な7つのスキル ・創業支援に役立つ質問の仕方
	13:40-17:40	創業支援の実例	創業者から創業の動機、創業前後の問題・課題、その後の成長における取り組み状況について実際の経験談をうかがいます。その後、創業支援の専門家から、創業前後の課題解決サポートなど、実際に支援してきた話を聞き、自身の創業支援のあり方について考えます。
11/5 ^木	9:30-12:30	創業、新規事業支援の考え方	創業、新規事業展開に関する創業者、事業者の支援の流れや支援ポイントについて、資金繰りの流れや儲けに繋がる販路開拓の仕組みづくりを踏まえて学びます。 ・創業等の資金繰りの流れと管理 ・儲けに繋がる顧客開拓の仕組みづくり ・創業等の相談におけるビジネスモデルの見える化支援の方法
	13:30-17:30		
11/6 ^金	9:30-12:30	創業、新規事業支援の効果的な進め方【演習】	創業、新規事業展開等を円滑に進めるためのビジネスモデルの見える化方法を学ぶとともに、戦略的視点を付加したブラシュアップなどについて、事例演習を交えて学びます。 ・ビジネスプランの立案と目利き ・BSCの視点に基づく戦略目標設定と行動計画策定 ・創業後のフォローアップを効果的に進める方法
	13:30-16:30		
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。（5～10分程度）

講師紹介（敬称略）



コンサルティング・シスト代表
中小企業診断士
人と企業の戦略アドバイザー
伊藤 慎悟
(いとう しんご)

観光バス会社で添乗員や営業の仕事で5年間経験した後、各務原商工会議所に転職し、地域中小企業の支援業務に16年間従事。平成20年、経営コンサルタントとして独立開業。地元岐阜県、愛知県を中心に全国で年間約180回のセミナーや研修の講師を務める他、起業家、経営者、後継者の相談も年間約300件行っている。また全国の中小企業大学校等において中小企業支援者の指導、育成にも関わっている。



さかい新事業創造センター
インキュベーションマネージャー
中小企業診断士
山本 裕司
(やまもと ひろし)

民間企業、中小企業支援機関、行政機関の勤務経験を活かし新事業、創業、販路開拓、経営法務等に関する創業者、中小企業の支援実績多数。全国に幅広い人的ネットワークを形成しており、その親身な相談スタイルは、創業者、経営者から定評がある。

■株式会社三天被服
代表取締役

東谷 麗子 (とうこく れいこ)

■株式会社フォレストバンク
代表取締役

小林 亮 (こばやし りょう)

■グーイー株式会社
代表取締役

余野 桜 (よの さくら)

事業承継支援の進め方

研修のねらい

経営者の高齢化が進んでいるにもかかわらず、半数を超える企業が現在も後継者が決まっていません。従業員、取引先のみならず地域経済にまで大きく影響を及ぼしかねず、後継者の決定と継承が急務となっており、同分野で経営指導員に寄せられる相談は、案件数のみならず、解決の難易度も上昇してきています。

本研修では、多くの中小企業経営者が喫緊の課題としてとらえている後継問題について、事業承継計画書の作成演習なども交えながら、承継時に留意すべきポイントを学びます。

研修のポイント

- ✓ 中小企業の円滑な事業承継を支援する者としての心構えについて学びます。
- ✓ 事業承継に関わる経営、税務、法務知識等を整理して学びます。
- ✓ 事業承継計画の作成支援の仕方について、演習を交えて学びます。

研修期間

2026年
11/9^月～11/10^火
(2日間、12.5時間)

対象者

- ・ 中小企業の事業承継支援に必要な知識やスキルを身につけたい方

定員 30名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
11/9 月	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-11:10	事例から学ぶ 事業承継支援の基本	様々な事例から事業承継支援の留意点を学びます ・ そもそも事業承継とは何をするのか ・ 事業承継支援の基本的な流れ
	11:10-12:40	事業承継の実践 (ロールプレイ演習)	実際の支援現場でのケースを想定して、演習を通して学びます ・ ヒアリング設問の意味 ・ ヒアリングによる課題の抽出 ・ 事業承継方針の決定
	13:40-15:40	事業承継に関する 税制の基本	事業承継税制の概要 ・ 納税猶予、特例制度 ・ 自己株式の評価 ・ 相続税、贈与税の基本
	15:40-17:40	事業承継に関する 法務の基本	事業承継で着目すべき法務の知識 ・ 会社法 ・ 民法特例 ・ 遺言等
11/10 火	9:30-11:00	事業承継における 知的資産の引継ぎ	事業承継の重要課題である知的資産の承継 ・ 知的資産とは ・ 知的資産経営実践のステップ
	11:00-12:30	高齢経営者や 経営不振企業の 事業承継	後継者不足や事業継続が困難な場合の対応策を具体的に学びます ・ 後継者不在の高齢経営者と経営不振事業の事業承継 ・ 後継者不在企業とM&A ・ 計画的廃業のすすめと手順
	13:30-16:00	事業承継計画作成の 支援 (事例演習)	・ モデルケースによる事業承継計画作成を、演習を通して学びます。
	16:00-16:10	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間30分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



株式会社プロ・スクエア コンサルタンツ
中小機構
事業承継支援アドバイザー
天井 省二
(あまいしょうじ)

大学卒業後、海運代理店勤務を経て平成5年にコンサルタントとして独立。自社で中小企業の経営支援を行うと共に、神戸市震災復興融資相談員、中小企業大学校後継者コース講師、大阪市都市型産業振興センター経営相談室次長等につきながら、多くの経営相談、創業支援、経営改善等の公的支援を行う。中長期経営計画策定10社以上、事業再生計画策定20社以上、創業計画策定支援数百社以上の実績を持つ。兵庫県立大学大学院社会科学部研究科客員教授。



杉本雅彦 税理士事務所
中小機構
事業承継支援アドバイザー
杉本 雅彦
(すぎもとまさひこ)

同志社大学卒業後、化学メーカーに勤務したのち、税理士資格を取得し、平成14年に開業。平成20年に中小企業診断士資格を取得し、経営支援を強化。事業承継コーディネーターとして企業の承継支援に従事し、金融機関等での研修講師や経営相談員として活動。事業承継計画書の作成、株価計算、財産移転計画の策定、相続支援に携わるほか、大阪府で農業経営者の支援も行う。経営者の成長と事業の発展を多角的にサポートしている。



辻本法律特許事務所
中小機構
事業承継支援アドバイザー
辻本 希世士
(つじもと きよし)

関西大学大学院修了後、平成9年に司法試験合格。平成12年に弁護士登録し、翌年弁理士登録。知的財産法を中心に、民事・商事・金融・倒産・不動産など幅広い法律業務に従事。平成18年にニューヨーク州弁護士登録、山口大学客員教授就任。平成20年より中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターとしても活動。多くの企業の法務を支援し、訴訟業務や知的財産戦略の助言を行う。関西経済同友会など多くの団体に所属し、幅広い分野で活躍中。

経営支援に役立つ ロジカルシンキング講座

研修のねらい

中小企業・小規模事業者を支援する上で、様々な問題に対して合理性の高い解決策を導き出すには、ロジカルシンキングは欠かせません。また、事業計画書や補助金申請書類作成の効果的支援には、ロジカルシンキングを活かした考え方や文章構成が必要です。

本研修では、ロジカルシンキングやライティングを総合的に学び、演習を交えながら経営支援における活用手法を習得します。

研修のポイント

- ✓ 論理的思考力を活かした、ビジネスモデル構築支援、事業計画、策定支援の進め方を学びます。
- ✓ ロジックやライティング手法を用いた経営支援の実践について演習を通じて学びます。

研修期間

2026 年
11/25水～**11/27**金
(3日間、20時間)

対象者

- 経営支援に関する業務の質を高めるために、論理的思考を鍛えたい方

定員 **30** 名

受講料 **23,000** 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
11/25 水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	ロジカルシンキングの基本	【ロジカルシンキングの基本ポイント】 - ロジカルシンキングとは何か？ - ポイント1：比較する - ポイント2：洗い出す - ポイント3：明確化する - ポイント4：視点をコントロールする
	13:40-17:40		【ロジカルシンキングの展開】 - ゴールを定義する - 先入観から逃れる - 可能性を広げる
11/26 木	9:30-12:30	ロジカルシンキングの実践応用（演習）	【ロジカルシンキングの2大用途と統合化】
	13:30-17:30		【ロジカルシンキングの実践応用】 事業計画シミュレーション（企業からの相談ケースを題材に、現状把握から経営改善策の検討、計数の想定、ストーリーづくりとプレゼンテーションまでを演習します）
11/27 金	9:30-12:30	ロジカルライティングの基本と実践	【ロジカルライティングの基本】 - 読みやすく、相手に伝わりやすい文章作成の基本 - 論理的思考のフレームワーク(演習)
	13:30-16:30		【ロジカルライティングの実践】 - 様々な用途の文書作成（演習） - 文章の校正のポイントと分かりやすく見せるコツ
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。（5～10分程度）
（受講者持参物） ・パソコン（貸し出しも行ってあります。）

講師紹介（敬称略）



オフィス ウェイブランニング
代表 中小企業診断士

三宅 秀和（みやけ ひでかず）

立命館大学大学院理工学研究科修了後、大手建築設計事務所にて7年間、調査・企画業務に携わる。2009年中小企業診断士資格を取得。2010年経営コンサルティング会社に入社。チーフコンサルタントとして、主に中小・中堅企業を対象とした経営改善支援、社員教育、公的機関でのセミナー講師に従事。2016年独立。



株式会社HRインスティテュート
コンサルタント

岡村 美香（おかむら みか）

一橋大学社会学部研究科地球社会専攻卒業。地方自治体でタウンミーティングの企画・運営、(株)日本能率協会コンサルティングで組織風土診断・組織開発コンサルティングに従事した後、HRインスティテュートに参画。出産～復職を経て、働き方の見直しや女性活躍支援に強い関心を抱く。2012年6月～11月タイ王国バンコク赴任。「1人1人が変わる。職場が変わる。」をモットーに1人1人に寄り添った研修が持ち味。

～事業者支援のための実践的 OJT スキルアップ～ ベテラン支援担当者のための OJT能力向上研修

研修のねらい

企業経営の支援能力向上を目的としたOJTは、支援現場によって指導する知識やノウハウが異なるだけでなく、OJTの機会や場、指導者に求められる資質や能力も大きく異なります。そのため、指導者は体系的に「教え方」を学ぶことなく実施することが多く、結果として期待した成果が得られないという課題が見受けられます。本研修では、OJTの基本的なノウハウを理解した上で、支援能力向上に向けたOJTの実践的なポイントを学びます。また、インターバル期間中に実際の支援現場でOJTを実践し、その振り返りを通じて、現場に即したOJT実践のノウハウを習得します。

研修期間

2026 年
11/12^木・11/13^金
12/15^火
(3日間、19時間)

対象者

- 中堅以上の指導員を対象に、事業者支援に関する OJT をより効果的に行うために必要なスキルや考え方を学びたい方

定員 30 名

受講料 23,000 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

研修のポイント

- ✓ 事業者支援担当者育成の指導方法を体系的に学びます。
- ✓ 支援能力向上を図る OJT ノウハウを演習で身につけます。
- ✓ 現場での実践と振り返りを行い、OJT 実践のポイントを学びます。

月 日	時間	科目	内容
11/12 ^木	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	支援能力向上のための OJT 実践ノウハウ	支援現場において、指導者に求められる役割と OJT の重要性を理解するとともに、人材育成を効果的に進める上で知っておくべき OJT の実践ノウハウについて学びます。
	13:40-16:40	支援機関が行う OJT の考え方	支援能力向上のための OJT を実施するためには、支援機関として支援人材育成の環境を整備する必要があります。効果的な OJT を実施するための前提となる支援人材育成の考え方、仕組みを学びます。
11/13 ^金	9:30-12:30	支援機関が行う OJT の取り組み	OJT の取り組み方法を、マネジメントする管理者や OJT を実施する指導者の視点で学びます。
	13:30-17:30	OJT の現場実践① ～自機関の OJT 実践の準備～	これまで学んだことを活かして、インターバル期間に OJT を実践します。そこで、効果的な OJT を行うための準備をします。
約 1 ヶ月のインターバル期間			
12/15 ^火	9:30-12:30	OJT の現場実践②前半 ～自機関の OJT 実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践した OJT を振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	13:30-16:30	OJT の現場実践②後半 ～自機関の OJT 実践の振り返りと改善～	インターバル期間で実践した OJT を振り返り、今後の改善策を検討します。 ※埼玉県商工会連合会 黒澤指導員より事例共有
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：19 時間 20 分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5 ～ 10 分程度)

講師紹介(敬称略)



フレイヤ・コンサルティング
代表

豊田 信 (とよだ あきら)

中小企業診断士。広告代理店勤務を経て、1998年経営コンサルタントとして独立。酒類業、フランチャイズビジネス、ベンチャー企業育成を主要領域に企業支援の実績多数。2011年より5年間、中小機構全国支援ネットマネージャーを務め、全国の商工会などを対象とした支援機関支援に携わる。専門家派遣による小規模企業支援の実績も多い。中小企業大学校講師、事業再生士補、知的資産経営認定士。



(一社) 埼玉県商工会議所連合会
広域指導員

黒澤 元国 (くろさわ もとくに)

大学卒業後、大手流通会社、大滝商工会(当時)、秩父商工会議所を経て2021年4月から埼玉県商工会議所連合会広域指導員。県内の事業者支援と支援担当者育成を手掛ける。中小企業診断士の資格を持つ。中小企業庁の「伴走支援の在り方検討会」や「中小企業収益力改善支援研究会」などの委員などを務める。

- 豊田先生から OJT の型を、黒澤先生から OJT の実践方法を学べた。
- 全国の支援担当者とのネットワークができた。

～伴走支援力、事業性評価力向上研修～

地域金融機関職員研修

研修のねらい

中小企業、小規模企業の多くが資金繰りや売上不振、経営者の高齢化、後継者問題等数々の経営課題に直面しています。

中小企業等の経営者自らが環境変化を踏まえて経営課題を冷静に見極め、迅速果敢に対応・挑戦する「自己変革力」が求められており、金融機関等には「新たな伴走支援」の実践力が問われています。

本研修は、金融機関職員が中小企業等の経営課題に対してローカルベンチマークや経営デザインシートの活用等により事業性評価力を向上させ、伴走支援力を習得・強化することを目的としています。

研修期間

2027 年
1/13_水・2/2_火

(2日間、12.5時間)

対象者

- 中小企業・小規模事業者の支援に携わる地域金融機関の役職員の方。特に現場経験5年から10年程度の中堅職員の方には最適です。

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

研修のポイント

- ✓ 座学講義のほか、講師や受講者との意見交換等により、知識、スキルの習得と業務への応用力、適用力の向上を目指します。
- ✓ 国の小規模事業者対策と実際の支援策のあり方や重要ポイントについてわかりやすく学べます。
- ✓ 地域金融機関職員同士による意見交換で業務遂行に役立つネットワークづくりができます。

月 日	時間	科目	内容
1/13 水	9:30-9:35	事務連絡	
	9:35-9:40	共催代表のご挨拶	
	9:40-12:40	中小企業支援施策の最新動向と課題設定型伴走支援	最新の中小企業行政・金融行政の動向を整理し、金融機関の持続可能な収益性と健全性をどのように構築していくかを考えます。地域金融力強化プラン等の政府施策を踏まえ、課題設定型伴走支援の考え方と実務のポイントを学びます。
	13:40-17:10	中小企業支援施策の最新動向と課題設定型伴走支援（実践事例、意見交換等）	創業・事業再生・事業承継・成長支援等の事例を通じ、伴走支援型融資や企業価値担保権の活用を理解します。経営デザインシートやローカルベンチマークを用いた支援の進め方を具体的に確認し、意見交換を通じて実務への応用力を高めます。
2/2 火	9:30-12:30	地域金融機関に期待される役割と事業性評価の実践	中小企業の現状と営業現場の実状に横たわるギャップについて概観し、地域金融機関の渉外担当者に求められているものを浮き彫りにします。また、事業性評価を行うにあたっての分析手法をマクロ的な観点、対話によるミクロ的な観点から解説します。
	13:30-16:30	ソリューション提案の実践と公的支援機関の活用手法	事業性評価により抽出した個々の経営課題に地域金融機関としていかなるソリューションを提供できるのか、事例を用いて学びます。その際、本部に頼らずとも、営業店ないしは担当者の工夫だけでも提供できるよう、公的支援機関の活用やその他具体的な動き方について解説します。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間50分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

講師紹介(敬称略)



一般社団法人 日本金融人材育成協会 会長

森 俊彦（もりとしひこ）

東京大学卒、日本銀行入行、バーゼル銀行監督委員会・日本代表、上席査役、金沢支店長、金融機構局審議役などを経て金融高度化センター長、2019年より現職。

現在、中小機構「中小企業応援士選定委員会」委員長、足利銀行取締役、西尾信用金庫理事、地域未来デザイン代表理事などを兼務。



株式会社地域金融ソリューションセンター 代表取締役

竹内 心作（たけうち しんさく）

政府系金融機関にて法人営業等に従事した後、(公財)大阪産業局に入所。統括責任者として中小企業支援事業の企画・運営に従事。

その後独立し、地域金融ソリューションセンター代表に就任。金融機関の法人担当者や取引先へ同行訪問し、サポートする傍ら、本業支援に関する講演・研修活動を行っている。

- ・他行の実例を用いて営業現場の実情を説明してもらったので、大変分かりやすかったです。

ケースで学ぶ！ 経営力再構築伴走支援研修

研修のねらい

環境変化が激しく、不確実性が高まる時代においては、企業の「経営力そのもの」が重要となり、企業自らが柔軟に自社を変革させていく「自己変革力」を高める必要があります。

本研修では、経営者が本質的な課題に気づき、経営改善・成長のためになすべきことに腹落ち・納得し、能動的な行動につなげる伴走支援について、実際の伴走支援事例を基にしたケース演習を通じて、対面型で実践的に学びます。

研修のポイント

- ✓ 経営力再構築伴走支援モデルの三要素、フレームワークを学びます。
- ✓ 経営者に寄り添い、課題設定型の的確な支援を行うためのスキルを磨きます。
- ✓ 実際の伴走支援事例を基にしたケース教材を用い、支援の進め方について実践的に学びます。

研修期間

2027年
2/15^月～2/16^火
(2日間、12時間)

対象者

- 経営者に寄り添うスキルを身につけたい
中小企業・小規模事業者の支援者

定員 30名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
2/15 月	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-16:40	経営力再構築 伴走支援の 基本的な流れ	経営課題に応じた支援手法(技術的問題、適応課題)、プロセス・コンサルテーションの考え方を理解します。 経営力再構築伴走支援モデルのフレームワーク、支援の進め方について学びます。 事業者と接する前 事業者・支援者双方の理解 伴走支援の開始 気づき・腹落ちの促進 内発的動機づけ 課題解決 フォローアップ
2/16 火	9:30-16:30	事例研究 (演習)	経営力再構築伴走支援プラットフォームに掲載している事例を用い、伴走支援の効果的な進め方、留意点を学びます。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

(受講者持参物) ・パソコン(貸し出しも行ってあります)

講師紹介(敬称略)



オフィス ウェイブランニング

代表 中小企業診断士

久保 道晴(くぼ みちはる)

2006年、公認会計士試験に合格し、あずさ監査法人(現 有限責任あずさ監査法人)に入所。2011年に独立後、中小企業の事業承継、後継者育成に特化した支援を行う。公認会計士・税理士・中小企業診断士・1級ファイナンシャル・プランニング技能士。主な著書「オーナー社長の後継者育成読本」「ソリューション営業のためのFP実践講座」(共著)「事業承継入門講座」(共著)など。

現場で考え

現場で動ける人材へ

6か月で即戦力に！

中小企業診断士 養成課程

全国から
受講可能
寮完備



年2回
9月・3月開講

現場で考え、動ける力を養う6か月間の実務重視プログラムです。
64年にわたり中小企業支援の現場を担う人材を育成。
9,300名を超える修了生が、全国の支援機関・金融機関等で活躍しています。

・定員制
・選考あり

対象

- ・中小企業診断士 第一次試験合格者
- ・実務に強い診断士として活動したい方
- ・支援機関・金融機関等での活躍を目指す方

養成課程の詳細はこちら

東京都東大和市桜が丘1-137-5

【E-mail】 to-shindan@smrj.go.jp

TEL.042-565-1273

中小企業診断士 養成課程

検索

▶ 最新情報をチェック



研修の効果をもとめる秘訣がここに! みち しるべ 研修受講の「道標」のご案内

今般、中小企業大学校では、研修受講者の受講意欲向上と研修効果を高めることを目的に、派遣元企業様においてご活用いただけるガイドブック「研修受講の道標」を作成いたしました。

また、受講者様やその上司、人事研修担当者様、経営層向けに、それぞれの役割を整理した「研修受講前後の検討・確認シート」も下記のとおり用意しております。

これらの資料を活用して、社内で取り組んでいただくことで、研修受講がより実りのあるものとなれば幸いです。ぜひご利用ください。



研修受講の「道標」とは

1. 目的

本ガイドブックは、大学校研修受講者の受講意欲の向上と研修受講の効果を高めることを目的に、研修前後にお取り組みいただきたい具体的な内容を示しています。

「研修受講前後の検討・確認シート」とあわせてご活用ください。

2. 主な内容

- I. 押さえておきたい! 研修受講の基礎知識
- II. 基本編～研修受講の効果を高めるための社内取組み
- III. 応用編～自社の人材育成に本格的に取り組みたい企業の皆様へ
- IV. 資料編（社内取組み事例、研修受講前後の検討・確認シート）



ダウンロード方法

下記URLから、以下の資料をダウンロードいただけます。

右記の二次元コードからもアクセスいただけます。

① 中小企業大学校研修受講の「道標」(PDF)

② 研修受講前後の検討・確認シート (Word)

● ダウンロードURL : <https://inst.smrj.go.jp/course-attend>



あらゆるステージの中小企業に、寄り添うサポートを 中小機構近畿本部の事業ご案内

中小機構 近畿本部は主に近畿2府4県のエリアの中小企業、小規模事業者の皆さま向けに、人材育成に加え、あらゆる成長ステージや経営課題に応じた支援メニューを提供しております。まずはお気軽にご相談ください。

イノベーション

会社の新たな挑戦を、専門的なサポートとビジネスチャンスの提供で推進します。

スタートアップ挑戦支援

手厚い経営支援付きの貸オフィス・貸ラボの運営し、スタートアップのあらゆるフェーズの経営相談に対応します。



TEL : 06-6264-8617

海外展開ハンズオン支援

輸出の検討段階から事業計画書の策定など幅広い支援メニューでサポートします。



TEL : 06-6264-8624

ジェグテック (BtoBのビジネスマッチングサイト)

大企業・中小企業・海外企業はじめ約35,000社が登録。登録・利用(専門家のサポート含む)は無料です。



TEL : 06-6264-8622

IT経営サポートセンター

IT化のお悩みをオンラインで無料相談。中小企業の方だけでなく支援機関の方も利用いただけます。



TEL : 06-6264-8613 ※予約制

経営力の強化

経営者ならではの悩みを、相談できる場所があります。

経営アドバイス〈窓口相談〉

経営課題に対して専門家による1時間無料のアドバイスを実施しています。



TEL : 06-6264-8613 ※予約制

ハンズオン支援(専門家派遣)

専門家が数カ月～10カ月程度伴走し、新製品開発・営業強化・生産性向上などの経営課題を継続的に支援します。



TEL : 06-6264-8613

事業の継続

会社の飛躍や承継のために、中小企業に必要な支援策があります。

“事業継続力強化計画”策定支援

BCP策定の
第一歩!

企業の災害対策“事業継続力強化計画”策定のため、専門家を無料で派遣します。



TEL : 06-6264-8613

共済制度

小規模企業共済
個人事業主・
小規模事業者の退職金

経営セーフティ共済
取引先倒産時の
資金調達



TEL : 共済相談室(コールセンター) 050-5541-7171

その他幅広い支援メニューを取り揃え、中小企業・小規模事業者の皆様の成長と発展をサポートします。

情報提供

中小企業向けお役立ち・最新情報は



経営課題を解決する羅針盤 をCheck
補助金・セミナーに関する情報を毎日100件更新!



中小機構メールマガジン (近畿版)

中小機構が主催する人材研修・セミナーなど支援施策の情報。各種支援機関からの補助金・助成金、セミナー情報もお届けします!



受講申込みのご案内

受講申込み

- ・ 全コースの申込開始時間は、2026年4月1日午前9時30分からとなります。
※受講申込み開始後は先着順での受付となります。
- ・ 「中小企業支援担当者向け研修」ページから「Web 申込み」にてお申し込みください。
※「Web 申込み」の「受講者所属機関情報の電話番号」につきましては、所属機関の代表番号をご入力ください。

お申し込みの流れ



- ・ 応募が定員を大幅に下回る研修については、開催を見合わせる場合があります。
ご理解賜りますようお願い申し上げます。
- ・ 受講キャンセルする場合は、当校までご連絡をお願いいたします。
お振込み後のキャンセル料は、下記のとおりです。

開講1ヶ月前まで：全額返還 / 開講前日まで：8割返還 / 開講日以降：返還はございません

中小企業の 人材育成も強化中！

リーダー育成から業務改善・AI活用、生産管理、人事・会計・営業まで。
中小企業の人材育成も力強くサポートしております。
支援先企業の人材育成でお困りの際は、
ぜひ関西校の研修をご紹介します。

詳細はこちら



Be a Great Small.
中小機構

中小企業大学校 関西校
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部

〒541-0052 大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング17階

Osaka Metro (大阪メトロ)

- 堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分（17番出口）
- 御堂筋線・中央線「本町」駅から徒歩5分（3番・7番出口）

駅近で便利な立地もイチオシ！

